

様式第2号

視察研修先	長野県小諸市議会	氏名	古沢清志
視察研修項目	有害鳥獣商品化施設整備事業について		
<p>○概要</p> <p>小諸市は雄大な浅間山の南斜面に広がり、市の中央を千曲川が流れる詩情豊かな高原都市です。昔から交通の要所として、中山道、北国街道、佐久甲州街道が交わる所として、城下町が形成され物資の交流が盛んになり商業都市として、栄え発展してきました。</p> <p>○事業内容</p> <p>有害鳥獣（シカ）を駆除し、駆除したシカの有効活用を図るため、加工販売し、効果的な野生鳥獣対策を目指すもの。近隣自治体と連携し広域的な鳥獣被害対策手段を確率し、被害の低減および解体加工施設での雇用を創出している。</p> <p>○質疑応答</p> <p>Q1：食用ではなく、ペットフードとしての加工を選んだ理由は</p> <p>A1：食用としては需要が無かったためペットフードとして販売することにした。 また販売目的はやはりいくらかでも、お金に変えたかった</p> <p>Q2：商品化するには安定した鹿肉の確保と流通先が必要だと思いましたが、需要と供給のバランスはとれているのか。</p> <p>A2：需要の方がはるかに大きい。</p> <p>Q3：加工品の売上はどのくらいあるのか。また、加工施設での雇用人数および人件費等のランニングコストはどのくらいか。</p> <p>A3：売上高は2,265万円、雇用人数は8名となっている。</p> <p>Q4：加工施設において、鹿肉以外の鳥獣の処理等行う予定は、今後あるのか。</p> <p>A4：鹿以外の動物を扱う予定はない。</p> <p>Q5：近隣自治体と連携した広域的な鳥獣被害対策として、対策に実施体制や費用負担はどうなっているか。</p> <p>A5：近隣自治体で処理施設がない所については、処理費用をいただいて運営しているので、よその自治体からも歓迎されている。</p> <p>○感想</p> <p>現在有害鳥獣の被害が国内においても、非常に大きな問題となっております。熊の出没や人的被害など毎日のようにニュースが流れますが、それだけでなくイノシシが畑を荒したり、鹿が耕作している芽を食べたり、その被害たるや年々大きくなっているようです。小諸市では被害をなくそうと北大から専門家を採用し、駆除だけでなく、得た肉を商品化するまでになった。捕獲から商品化までを視察させていただきとても勉強になりました。今後本市においても見習うべき点が多いのではないかと思います。</p>			

様式第2号

視察研修先	群馬県高崎市議会	氏名	古沢清志
視察研修項目	農業者支援のための各種補助制度について		
<p>○概要</p> <p>高崎市は広大な関東平野の北端に位置する、群馬県では最大都市であり、交通や経済の中心地となっており人口は37万人を超え、平成23年4月には中核市へ移行し更なる発展を続けている都市。</p> <p>○事業内容</p> <p>地産多消（地産地消+地産他消）を推進しており、農業者を支援するための助成制度が充実している。6次産業化等推進事業補助金・ブランド商品開発事業補助金・地元農畜産物消費拡大事業補助金 等</p> <p>○質疑応答</p> <p>Q1：シティ・プロモーション事業について、制作に至った経緯と反響を教えてください。</p> <p>A1：高崎市ブランドシティ・プロモーションの第3弾として、令和元年度より事業を開始。幅広い世代に本市の農業の素晴らしさを紹介し農業への関心を高め、販路の拡大などに繋げていくことを目的に、2人の若手俳優が市内生産者と交流し、市内産農産物や加工品などの魅力を配信するYoutubeチャンネル「農Tube高崎」をインターネット上に開設した。動画投稿数56本、チャンネル登録者数5,710人視聴回数380,867回</p> <p>Q2：スマート農業について、力を入れている取組みがあれば教えてください。</p> <p>A2：スマート農業については取り組んでいない。</p> <p>Q3：その他の取組みで参考になる事業について教えてください。</p> <p>A3：高崎市は梅の生産が国内第2位をしめる生産地です。最近、クビアカツヤカミキリの害虫が果樹の木に入り込み、木を枯らすようになってきた。生産者と市が一体となり消毒し果樹園を守っているが、次々と発生し困っているが、根気強く消毒を念入りに行い拡大を防いでいる。</p> <p>○感想</p> <p>近年、農業を取り巻く環境は非常に厳しくなっているように思います。有害鳥獣による農産物の被害や害虫による被害等、枚挙にいとまがありません。今回教わったクビアカツヤカミキリも栃木県まで拡大しているようです、もう数年で山形県にも襲来するかもしれません。今のうちから消毒の方法を聞き取り、拡散しないよう監視をしていきたいものです。しかし、いくら監視をしていても耕作放棄地などが増えると、そこからまた拡散の火種となってきますので、周辺地域と一体となって取り組んでいかなければならない問題と感じてきました。</p>			

様式第2号

視察研修先	群馬県館林市議会	氏名	古沢清志
視察研修項目	つつじが岡公園管理事業		
<p>○概要</p> <p>館林市は、県都前橋市までは50kmと県内主要都市の中では、最も離れていますが東京、浅草までは70kmと最も近く東京との交流は密接であり、鉄道や道路などの地理的条件に恵まれている。江戸幕府時代、5代将軍徳川綱吉が将軍になる前の20年間、石高25万石の館林城主となっていたことは、館林市が江戸幕府にとって重要な拠点であったといえる。現在も昔の面影を残しながら、広大な城址を中心に都市計画が進められ、きれいで歴史的文化の香り高い都市であった。</p> <p>○事業内容</p> <p>園内には100品種余・約1万株のつつじが植栽され、また、その古木群は国の文化財「名勝」に指定されている。つつじ祭り等を通し、地域経済の活性化及び公園の四季型化の充実を進めている。</p> <p>○質疑応答</p> <p>Q1：公園の四季型化に向けた整備について、具体的な内容を教えてください。 また、整備にあたり、「憩いの場として」整備と観光誘客を目的とした「観光地」の整備はどのように計画されていますか。</p> <p>A1：公園内に4Dシアターを建設し制作した映像を上映している。また、様々な飲食関係を出店し来場者に喜んでいただいている。</p> <p>Q2：年間を通して、季節ごとにどのような誘客方法を計画していますか。特につつじが咲いていない時季の誘客方法等も教えてください。</p> <p>A2：咲いていない時期は芝生の上で、全国陶器市などを開催し、また飲食等で喜んでいただいている。</p> <p>Q3：年間の来園者はどのくらいか</p> <p>A3：祭り期間中は過去に26万人くらい来ていた。現在はこれより少なく推移している。</p> <p>Q4：管理運営について、どの程度の費用対効果が図られていますか。</p> <p>A4：公園管理は業者に委託しており、約3,470万円支払っていますが、つつじ祭りの入園料が約3,795万円ほどあります。その他にも経費がかかっていますので若干の赤字になるが、市民の憩いの場として有効である。</p> <p>○感想</p> <p>公園は館林城址とあって広大な面積であり、見るからに維持管理が大変そうでした。しかし最近頭を悩ませていることは、病害虫がつつじを弱らせており、その虫を防ぐことが大事であると言っておりました。視察を通しどこにでも病害虫が住んでいることが分かりました。本市でもこの事例を参考にして注意を払っていきたい。</p>			